

# 晴天も応援 清鐘祭にぎわう

## 光永亮太さん 甘い歌声で 聴衆を魅了



金沢学院大学・金沢学院短期大学の清鐘祭は十月十八、十九日にキャンパス内で行われました。両日とも晴天に恵まれ、学外からも多数の来場者を迎えてにぎわいました。コンサートでは光永亮太さんが甘い歌声で聴衆を魅了し、講演会では映画監督の深作健太氏が映画制作にかける情熱を熱く語りました。

開会式「写真」では、村上丈史実行委員長、津田香織副実行委員長が「たくさんの方々に楽しんでもらいたい」とあいさつ、小堀為雄副学長・短大学長が激励しました。

メインステージでは、バンド演奏や邦楽、太鼓の披露をはじめ、クイズやゲーム大会など楽しい催しが目白押し。各講義室では、クラブ、クラスごとの研究発表や習作展示がありま

た。就職やコンピニ事情をテーマにしたシンポジウムも開かれました。十九日の光永さんのコンサートには約六百人が来場しました。テレビドラマの主題歌としてヒットした「Always」をはじめ十数曲を、甘く澄んだ声で聞かせる。集まった女性ファンらが大きな拍手と声援を送りました。講堂では第二回日本海デジタルアートコンテストの表彰式も行われました。(詳細は次号で)

## 深作健太監督が熱弁 「日本でしか できない映画を」

映画監督・プロデューサーの深作健太氏の講演会は十八日、講堂で行われました。深作氏は父で映画監督の深作欣二氏がメガホンを取ってヒットした「バ



トル・ロワイアル」をプロデュースした経緯を軸に、欣二監督の半生、戦後の日本映画の歴史と盛衰などを織り込みながら、映画づくりにかける情熱と苦労話をテンポの良い口調で語りました。

深作氏は、かつて映画会社が系列館へ配給していた時代から、複数のスクリーンを抱えるシネマコンプレックス(シネコン)での上映へと移り変わり、ハリウッドの大作に「竹やり」で立ち向かわなければならぬ邦画の現状を解説し、「日本でしかできない映画を作っていきたい。ぜひ映画館に足を運んでほしい」と話しました。

講演を聴いた学生からは、尊敬する人物、学生生活、役者のオーディション、今後の映画制作などについて質問がありました。深作氏は、「日本発のアクション映画を撮りたい」と意欲を見せていました。



塾を対象にした東高校の説明会 = 金沢エクセルホテル東急

### 塾対象に説明会

金沢東高校の塾を対象にした説明会は十四日、金沢エクセルホテル東急で行われ、四十五の塾の代表者が出席しました。青山克彌校長が、充実したスタッフと高大一貫教育の特色などをアピールしました。

発行・入試広報部